

医学部医学科「入学者受入れの方針」

本学科では次のような学生を求めています。

1. 医師となる明確な目的意識を持っている
2. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力がある
3. 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っている
4. 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている
5. 将来の人類のために創造的な医学研究を志向するに必要な思考力・判断力の素養と探究心を持っている

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、以下の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、2に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では2と5を重視して、数学、理科及び英語の教科による思考力・判断力・論述力を重視した個別学力試験を課し、1と3～5に対しては面接を課します。

【推薦入試Ⅱ（センター試験を課す入試）】

推薦入試Ⅱでは、2に対しては「高等学校の学習成績概評が④又はA段階」を出願の条件とし大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課し、1と3～5に対しては面接を課します。さらに、提出書類の内容などを加えて総合的に合否を判定します。

【私費外国人留学生入試】

外国人であって私費により本学科に入学を希望する方には、私費外国人留学生入試を行います。私費外国人留学生入試では日本語での大学教育を受けられる日本語能力と、2に相当する素養を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しており、出願にはその得点が680点以上であることが必要です。また英語外部試験の受験も課しており、TOEFL PBTで540点以上かTOEFL iBTで72点以上、もしくはTOEICで700点以上の得点を持つことが出願には必須です。また2と5に対応した評価を行うために学力試験（英語、数学、理科）を課すとともに、1及び3～5に対しては面接を課しています。面接では1と3～5を中心にして、将来医師として活躍できる資質、適性或倫理観を備えているかなどの判定を行い、提出書類などを加えて総合的に合否を判定します。

《大学入学までに履修すべき教科・科目など》

入学後の学びを円滑に進めるためには、高等学校等では以下の教科・科目の学力を十分に身につけていることが望まれます。また、高等学校等での特別活動や課外活動を通じて、自主的、協調的な態度や、思いやりと奉仕の心を育むことも強く望みます。

国語	十分な読解力，思考力，表現力，会話能力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と社会的素養
数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bについての十分な知識・技能と数学的思考
理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から3科目以上，及び物理，化学，生物，地学から2科目以上についての知識と科学的な思考力
英語	十分な読解力，表現力，会話能力

医学部保健学科「入学者受入れの方針」

保健学科は、専門性の異なる看護学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻で構成され、豊かな人間性、広い学問的視野と課題探究能力を身につけた高度な保健・医療の専門職者や保健学研究者を育成することで、保健学の教育・研究と保健・医療活動を発展させ、地域貢献を果たすことを目標にしています。このため、保健学科では、卒業時における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に到達可能な入学者を受け入れることを目的として、次のような学生を求めています。

1. 社会に対し積極的に関わり、”人”に深い関心と思いやりの心を持ち、保健・医療分野の専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識と高い倫理観を持っている
2. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、保健学科で専門分野を学んでゆくにあって必要な基礎学力と論理的思考力がある
3. 絶え間なく進歩する科学を保健・医療に適用していくための判断力・思考力・表現力の素養と国際的視野を持っている

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、2と3に対して、大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では数学と英語を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、2と3に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では1～3に対応して「面接」を課します。

【推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない入試）】

推薦入試Ⅰでは、「面接」での本学科の教員との対話を通じて1～3を評価し、「調査書」等の提出書類の内容を総合して評価します。これに加えて、一部専攻では「小論文」によって1～3を評価します。

【推薦入試Ⅱ（センター試験を課す入試）】

推薦入試Ⅱでは、2と3に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数

学，理科，英語を課すとともに，「面接」での本学科の教員との対話を通じて1～3を評価し，提出書類の内容を総合して評価します。

【私費外国人留学生入試】

私費外国人留学生入試では，日本語での大学教育を受けられる日本語能力と，2に相当する素養を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験と英語の外部試験を課しています。また1～3に対応した評価を行うために「小論文」と「面接」を課し，提出書類の内容を総合して評価します。

【社会人入試】

社会人入試では，「面接」での本学科の教員との対話を通じて1～3を評価し，提出書類の内容を総合して評価します。

【第3年次編入学入試】

第3年次編入学入試では，専門分野ごとの学力試験を課し，2に対応する評価を行うとともに，志望する専門分野の基礎学力を評価します。さらに，1～3に対応して「面接」を行い，提出書類の内容を総合して評価します。

《保健学科に入学するまでに学んでほしいこと》

保健・医療領域における専門職者の役割は，拡大し，多様化してきました。保健・医療専門職者には，人間の命の尊さを真摯に理解し，人を思いやる心を持ち，幅広い基礎知識と応用力，たゆみない探究心により，社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。このため，保健学科に入学するまでに高等学校等において次のような学力を身につけていることが望まれます。また，高等学校等での特別活動や課外活動を通じて，自主的，協調的な態度や思いやりの心と社会的倫理観を養っておくことが強く望まれます。

国語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学Bの知識と論理的思考方法
理科	物理，化学，生物の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
英語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力